

厚生年金・国民年金の平成30年度収支決算の概要

厚生労働省ホームページより（報道発表資料 令和元年9日）

厚生労働省年金局

1. 厚生年金

(1) 歳入は 47兆9,827億円であり、前年度より287億円減少している。

(主な変化)

- ・ 保険料収入が被保険者数の増加等により9,845億円増加。
- ・ 解散厚生年金基金等徴収金が納付基金数の減少等により8,852億円減少。
- ・ 年金積立金管理運用独立行政法人からの納付金が1,800億円減少。

(2) 歳出は 47兆3,863億円であり、前年度より9,630億円増加している。

(主な変化)

- ・ 厚生年金の給付費が年金受給者数の増加等により1,393億円増加。
- ・ 基礎年金勘定への繰入（基礎年金拠出金）が基礎年金に要する費用の増加等により8,398億円増加。

(3) 以上の結果、平成30年度歳入歳出差は、5,963億円となった。

2. 国民年金

(1) 歳入は3兆9,330億円であり、前年度より2,410億円減少している。

(主な変化)

- ・ 一般会計からの受入（国庫負担）が基礎年金拠出金の減少により1,157億円減少。
- ・ 基礎年金勘定からの受入（基礎年金交付金）が基礎年金相当給付費の減少により905億円減少。

(2) 歳出は3兆8,130億円であり、前年度より3,477億円減少している。

(主な変化)

- ・ 国民年金の給付費が年金受給者数の減少等により771億円減少。
- ・ 基礎年金勘定への繰入（基礎年金拠出金）が基礎年金拠出金按分率の減少により2,468億円減少。

(3) 以上の結果、平成30年度歳入歳出差は、1,199億円となった。